



クラス別貸出冊数グラフ

5月31日現在

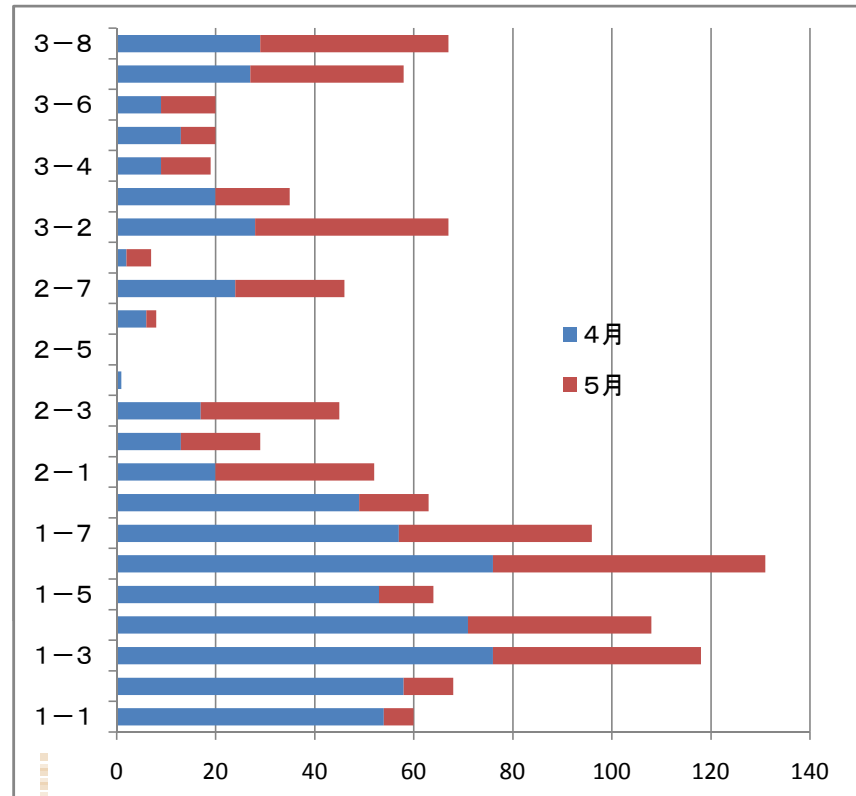
みなさん、こんにちは。

爽やかな風が吹いていたと思ったら、だんだん蒸し暑い日が多くなってきましたね。

さて、右の図はクラス別の貸出冊数グラフです。

貸出のあるクラスとないクラスの差が大きく出ていますね。一学期が始まってから約2か月ですが、まだ貸出数が1ケタ台のクラスもあります。とても残念です。

でも頑張ったところがありましたので、例年とくらべ貸出数が増えている傾向にあります。(1年生クラスオリエンテーションで一人一冊借りる等頑張りました。)これから、図書室では新しい本がどんどん入ってきますので、ぜひ足を運んでみてくださいね！



図書室からのお知らせ

●夏休みの図書室について

開館時間 9:00～16:00

開館日: 7月20日～8月24日

※ただし、上記期間中の土、日、

8月13日～16日は終日閉館します。

8月22日(一日体験日)午前のみ開館。

●夏休み前の貸出について

7月9日より長期貸出になります。

貸出冊数は無制限です。

なお、延滞中の人は貸出できません。

速やかに返却してください。

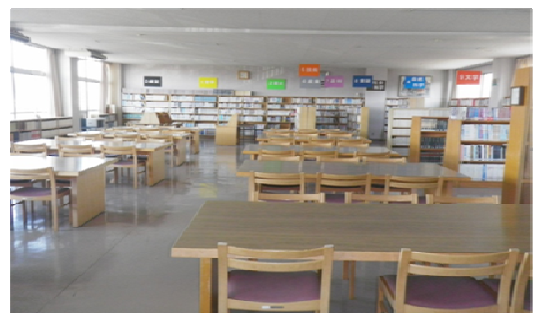
図書のリクエストについて

先日、みなさんから本のリクエストを取りました。

みなさんのリクエストを基に先ごろ選定会議を行いました。

どのような本が購入される予定なのか、自分がリクエストした本は入るのか、興味がある人は図書室内に結果を掲示していますので、見に来てくださいね。

また、すでに図書室にある本のリクエストも多数ありました。貴志祐介さんの本や有川浩さん、東野圭吾さんの本などなど……ぜひ、図書室で手にとってみてください。



図書委員長による本の紹介

今回は図書委員長におすすめの本を選んで紹介してもらいました。
この本は図書室にありますので、興味を持った人はぜひ読んでみてくださいね！



「英語教師のNGワード」 阿部 一 著 研究社 1600円

教師の不用意な発言が生徒の学習意欲を削いでしまったり、あるいは、あいまいな指示で効果の上まらない練習になってしまったりしていないかなど、「NGワード(授業で言うてはいけないことば)」という観点から、授業のやりかたを見直すことを提言する本。

『英語教師のNGワード』 阿部 一 著 研究社

僕は、英語が少々苦手で、特に高校2年生のときは、授業についてゆけず、先生の発言も意味不明に感じていたとき、この本に出会いました。

この本は、題名だけだと英語教師向けの内容に思えるが生徒が読むことによって先生の授業中の行動の意図を推察することが容易になります。

僕自身も先生への認識を改めることができ、過去の先生に対する態度を心の中で謝り、ついでに今までの授業の記憶もリセットして、それからは英語を迎え撃つことができた。

英語に苦手意識を持つ人、将来英語教師になりたい人、英語教師にオススメの一冊です。(PART2以降は、英語に苦手意識を持つだけの人は読まなくてもよいですよ。)

『アメリカの大統領はなぜジョークを言うのか？』

丸山孝男 著 大修館書店

題名からひょっとすると評論を想像するかもしれないが、中身は、歴代大統領(写真付き)、名言・迷言・ジョークがいくつか、その時の状況や軽い考察で、読書が苦手な人でも読みやすい内容だと思う。大統領はワシントンからオバマまで紹介しているが、当時の日本やファーストレディ等の欄もあって、一人ひとりの内容を薄く感じることはないのではないか。紹介されている名言の中で、筆者が気に入ったものを一つだけ紹介しよう。

「I'm a slow walker, but I never walk back」

和訳は「私はゆっくり歩くが、決して後戻りはしない。」だ。 誰の言葉か探してみてね！ これを読めばアメリカ大統領を見る目が変わるだろう。

